

中川村議会だより第 133 号（2023 年 6 月議会）アンケート結果

1 133 号の表紙について

- ◆味のある絵ですね。力強い絵なので「議会だより」の文字がもう少し強調されてもいいのかなとも思います。
- ◆イラストのサイズをもう少し小さくして、目次を色枠にするとか字を大きくして目立たせてはどうでしょうか。
- ◆個人的には優しい筆遣い、色調の島崎さんの絵が好きですが、今回人が変わったのには何か理由があるのでしょうか。もう少し明るい色彩だと夏らしくてよいと思います。
- ◆坂戸橋のアーチは美しいですね。対岸の緑の濃さを想像しました。
- ◆親しみやすい絵柄で中川村の風景を描いており好感が持てます。議会だよりの字体も含めて柔らかい雰囲気になっており良いと思います。
- ◆村内の方の中川村のイラストで親しみやすい表紙でよかったが、作者を最終ページではなくてイラストの下に記載したほうが作者のアピールになるのでは？目立ちたくない場合は最後でもよいと思う。
- ◆中川村にこんな場所があるよ、という紹介にもなっていて好感が持てます。有名どころだけでなく、村民でもなかなか知らないような場所も載せてほしいです。
- ◆「議会だより」という題字が手書きで、とても温かみがあって、カチッとせずぎていないところがよい。絵も描き手の温かさが伝わってくるのでとても好きです。毎回、どんな絵か楽しみにしています。
- ◆中川村らしさに加え、緑の木々から季節感も感じられて良いと思います。村民への議会だよりの知名度向上、村の行政等への興味関心を引き出すために地元の保育園児や小学生に有志で書いていただくのも良いかもしれませんね。
- ◆素敵です。顔写真 or 自己紹介 or 描かれた方の一言が載ったらさらにじっくり表紙を見たくなるかも！？

2 133 号の紙面構成について

- ◆とても見やすいと思います。個人的には議員さんの「問」の文章の色が少し恋色になるとわかりやすいのではと感じました。
- ◆一般質問のページは横書きですが、個人的には縦書きの方が読みやすく思います。できれば、質問の見出し部分は色を変えると「何について」の質問かわかりやすいと思います。
- ◆大変盛りだくさんな内容ですが、見出し・小見出し等あって分かりやすくまとめていると思います。
- ◆ライトグリーンを基調にしているのは何か理由がありますか？とても目に優しい色合いで読みやすいです。
- ◆請願審議のページを読み解きにくかったと感じました。厚生文教委員会では「採択」の後に続く文章は、次ページの陳情審議と同じように委員会で出された主な意見という理解であっていますでしょうか。
- ◆村政というテーマは一貫しているが、様々な切り口で取り上げており「親しみやすさ」や「読みやすさ」が伝わる紙面構成です。
- ◆構成は良いと思うが、文字が多く読んでいて最後まで読みたい気分にならない。読むのに 30 分ほどかかってしまうので若い世代は数ページで見るのをやめてしまいそうだと思います。

◆ただ内容を書けるだけでなく、ページの中に納まるよう内容を要約して見やすいです。効果的に写真や挿絵などが配置され見やすいです。

◆私は、あまり字ばかりだと読む力がなくなるときがありますが(笑)、絵や写真が要所所で使われていることと、文字の配置や大きさを変えて見やすくしてくれているので、難しい内容だとしても読みやすく「読んでみようかな」という気持ちになる。文字の色も、たくさん使わず見やすい。

◆一般質問の見出しが少々見づらいく感じました。例えば「川の駅でにぎわいづくりチャオ周辺の活性化への取り組みを」ですが、一見「施設利用の安心安全・運営継続のためにも支援を」の内容の一部のように見えてしまいます。きちんと内容を読めば全く別の内容であることはわかりますが、もっと明瞭に分けていただいた方が読みやすいと感じました。

◆見易いです。

3 133号の記事の内容について

◆様々な質問・回答でたくさんの方のことを同時進行されていることがよくわかりました。

◆消費税インボイス制度の実施延期・・・2年ほど前に勉強会に参加していても不明な点や現実問題高齢化した農家さんなどがすぐに理解して実施できるような内容ではないんです。もっと時間をかけて納得できる制度でなければいけないと思います。

◆全体的によくまとまっていると思います。

◆一般質問のことは傍聴したり、ケーブルテレビの中継等で知る機会はあると思いますが、「チョコッと訪問」「中川村の教育を考える」「小学生の傍聴の様子」等はこの紙面で教えていただけてとても良かったです。

◆「議会チョコッと訪問」村外からの移住者の方たちの意見を興味深く読ませていただきました。現状と新しい視点の双方を尊重しつつ、より良い方向に向かっていければと思いました。

◆「総代さんこんにちは」も他の地区の状況を垣間見られてよいと思いました。

◆教育に関する請願について、議員さんが現場の状況やそれを取り巻く環境を理解し、賛成をしていただけることの教育現場で働く一職員として感謝いたします。教職員組合の構成人数を減ってきており、請願を依頼するものが請願内容をきちんと理解していないこともあります。こちらの至らない点ではあるのですが、議員さんが趣旨を理解し、請願を先に進めていただいていることに心強さを感じます。

◆もう少し文章を減らして写真やイラストも使用しながらインタビュー記事をまとめてもらえると読みたくなると感じました。

◆地域活性化について・・・チャオ周辺を中心に、東に陣馬形山・望岳荘、西に伊那田島駅・西原果樹園団地などがあります。チャオが天竜川に近いので、川の駅構想が面白いと感じました。歩いて行ける距離に天の中川公園もあります。チャオの周辺を整備して、「スーパー・小売店（地元住民ニーズ）、観光案内所・つくっチャオ（観光客ニーズ）を融合した空間を作ったかどうかと思います。できたら大がかりの施設を作り直すのではなく、今ある建物を利用してこれが実現できないでしょうか。これにロコモーションの郷など、今ある資源を活用するようなツーリズムを目指すことが良い形だと思います。中川村の売りは大きな観光地にはない「静かで豊かな自然があること」だと思います。この強みを生かせたらと考えます。

◆以前に比べ、議員の方や議会のことだけでなく、「村民」にスポットを当てているところにとても親近感を覚えました。「へー、この地区はこんなことに困っているんだ！」とか「こんな取り組みをしているんだ」

とか、同じ村でも知らない地区のことを知ることができて面白かった。定期的にこういう記事があるといいなと思った。

◆全体的に丁寧にまとめてあって良いと思います。議会に関してしっかり説明してくださっていますし、チョコッと訪問やベテラン議員に聞きました！の立候補した動機なんかは特に面白いと思いました。

◆ベテラン議員さんの記事を読んで、皆さんを身近に感じられました。

4 議会広報ならびに村民と議会のコミュニケーションについて

◆今までなかなか議会だよりを全部読み込むことが少なく・・・今後はしっかり読みます。

◆議員訪問は良い方法かと思います。針ヶ平地区の協議会での話し合いも色々な意見が出たように、いろんな意見を吸い上げて反映されることは良いことだと思います。

◆村長や議員の方々の日頃の活動を順次載せていってほしいです。

◆中学生と村について語り合える場があるといいですね。(議会見学とは別にオープンに)

◆大規模な住民懇談会よりも「議会チョコッと訪問」の方が住民も気楽にお話ができると思います。ぜひいろいろな方に声をかけてください。また、ケーブルテレビの告知放送等使って広く訪問希望者を募集するのはどうでしょうか。

◆「チョコッと訪問」に出てくださった方のご意見、どれも「なるほど」とうなずけるものばかり。村で早急に取り組んでほしいと願います。

◆議会チョコッと訪問のように、ある程度テーマを絞って交流が生まれれば、その後に他の分野にも交流が広がっていくのではないかと期待しています。

◆「傍聴に行ったよ」の東小学校の児童の意見は、しっかりしていて頼もしく感じました。学生のころから議会の様子に触れてもらうことは未来の大人を育てる上でとても大切な機会だと思います。

◆他の市町村の議会広報を見ることもあるのですが、中川の議会だよりは手間をかけ、アイデアを練って作られているのがわかり、誇らしいです。議員さんの個性が見える、村民の意見をすくいとれる形をこれからも続けていただけるとありがたいです。

◆村民とどのようなコミュニケーションをとっているかも知らなかった。チョコッと訪問をやっていることが知れてよかった。

◆議会チョコッと「訪問少人数・短時間・気楽な意見交換」とっても良い企画だと思います。「総代さんこんにちは」は他の地区の実情を知ることができ、良い企画だと思います。

◆ご近所に議員の方がお住まいだったり、友人が議員さんをしているので、以前より「議会」を身近に感じることができている。ただ、そういう機会がないとなかなか「議会」に興味を持つことがない気がした。普段仕事をしていると、なかなか議員さんとのお話しできる場には行けなかったりするので、今のように読みやすい「議会だより」が私にとっては議会とのコミュニケーションの方法になっている。(一方通行だけど、読んでいるいろいろな情報が得られるので、勝手にコミュニケーションしている気持ちになっている(笑))

◆私の中で議会は結構縁遠い存在で、それにより不都合を感じたことがないので、特筆すべき問題がなければこのままでも良いのかなと感じています。しかし子育てしていらっしゃるご家庭や高齢者及びそのご家族の方々等、村で生活するうえで支援を求めている方々のために議会が存在する一面もあると思うので、そう

いった方々への政策がもっと「見える化」できれば自然と村民の様々な意見が集まり、議会の新陳代謝がもっと良くなると思います。

◆チョコッと訪問の継続

◆松川町が夏に開催していた「女性模擬議会」が面白い取り組みだと思いました。議会に興味を持ったり、知ることができる良い機会になるのでは！？と思いました。

5 議会・村に対するご意見・ご要望

◆農道脇の木の伐採等の環境整備希望。今にも倒れてきそうな大木が何本も見えています。毎日「いつ倒れてくるか・・・」と心配しながら通ります。県外車も多く通ります。安心して通れる環境整備ができるといいなと思います。

◆年々減少する人口に対して自然と経済が両立できる方法を考えていただければと思います。

◆村会議員は地区の推薦を受けその地区が全面的にバックアップして立候補するという昔のやり方は少しずつ変わってきているのでしょうか？ 議員＝名誉職ではなく、本当に村のために動いてくださる方がなるべき。今回お若い3名の方が初当選してくださり本当の嬉しい。

◆農地や山林、空地等の管理について、使えるサービスや補助、情報等が充実するといいと思います。検索、相談しやすい体制になっていくと助かります。

◆チョコッと訪問で書かれていた意見には、共感できるものがいくつもありました。

観光について・・・個々の魅力をつないでさらに大きな価値にする役割を村単位で行ってほしいと思っています。その一步が交流センターだとは思いますが、確かに入るまでのハードルが高いなと思っています。

学校統合について・・・統合そのものは必要と考えます。統合が教育環境の向上につながるよう進めていただければと思います。施設や設備、維持管理については統合によるメリットが感じられることが多いと思います。私が思う課題は人的配置についてです。小中を併設した学校では、校長、教頭、養護教諭、事務職員といった職種が基本的に一人しか配置されません。しかし調査、通達、書類といった仕事は小学校分と中学校分 別々に来るため一人で2校分の仕事をこなさなければならず、人的な管理についても2校分の仕事があり多忙であるとの声を聞きます。学校の中心を担う職員が多忙のため隅々まで見ることができないのでは良い学校になりえません。県内では、小中併設の学校にもかかわらず教頭が二人配置されている学校もあるようです。また、教育委員会との仕事分担を見直すことでも現場の負担が大きく変わります。そういった視点も含めて、教育環境の向上につながる学校づくりを進めていただければと思います。

◆議会だよりも村の公式 LINE に UP しても良いのではと思いました。

◆来年はどんちゃん祭の屋台をもう少し増やしてほしいです。

◆村のホームページにもっと力を入れてほしいです。

◆今年度から始まった産前・産後ヘルパーand 配食サービスがとても画期的だと感じています。私も利用対象者の一人ですが、本当にありがたい制度です。この制度をまずは村内に住む子育て世帯に周知し、利用促進を図ってほしいです。(現在の利用状況がわかりませんが、きっとまだ少ないはず) 村内で連携が生まれ、お金も循環し良いことづくし！！実際に利用した人の声などを載せた掲示物など？を作成となれば、協力したいと思います。

6 その他（お気づきのこと ご意見を自由に）

- ◆観光案内所になんとか入りづらい。チャオの出入り口を以前のように2か所にできたら観光案内所の利用も増えると思いますが、何かいい方法があればと思います。
- ◆6年後には新しい義務教育学校がスタートすることが決まりました。今年生まれた子供たちが入学する年です。若い世代の方々の学校に対するご意見をどんどん吸い上げ村政に繋げて行ってほしい。
- ◆空家、空き農地問題はもう予断を許さない状況にきています。空家（農地付き）所有者と移住希望者をつなぐ組織が早急にほしいです。「農地付きおためし住宅」はどうでしょう。農業をやりたい人がおためしで半年または1年住み、村内の方に指導していただくのは？そのための住居改修費は村に助成いただき農機具等も貸し出す。
- ◆議会だよりが村のホームページで見れることもスペースがあれば記載しても良いのではと思いました。
- ◆今のように中を開いてみたいと思うような「議会だより」の表紙だったり紙面を、継続していただけるとより若い年齢層の方が興味を持ってくれると思う。若い議員さん、ベテラン議員さんのどちらもいらっしやると、若い方にもより一層親近感を持ってもらえと思う。